

科目名	応用栄養学（卒業必修：栄養士必修：FS 必修：NR・SA 必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2		
担当教員	加藤 亮				
内容および計画	人が誕生してから一生を終えるまでの、妊娠や発育、加齢などに伴う人体の構造や機能の特徴を学んだ上で、対象者の食事（栄養素摂取）のあり方を学習する。また、健康維持・増進および疾病予防のために、栄養素の機能や補給法を学ぶことにより、健康に及ぼす種々のリスクに対する管理についての基本的な考え方や方法を学ぶ。人の健康に果たす栄養士の役割、考え方について学ぶ。				
1	オリエンテーション 栄養環境への適応 生体リズムと栄養				
2	栄養管理の考え方 栄養管理の進め方				
3	栄養素必要量の科学的根拠				
4	食事摂取基準の基礎的理解				
5	発育・発達・加齢 妊娠期・授乳期の栄養				
6	乳児期の栄養				
7	幼児期の栄養				
8	学童期の栄養				
9	思春期の栄養				
10	成人期・更年期の栄養				
11	高齢期の栄養				
12	運動・スポーツと栄養				
13	ストレス応答と栄養				
14	高温・低温環境と栄養 高圧・低圧環境と栄養 無重力環境と栄養				
15	災害時の栄養 まとめ				
教科書					
タイトル		著者名	出版社	ISBN	発行年
応用栄養学 第6版		木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉	講談社	978-06-518044-0	2020
日本人の食事摂取基準 2020 年版		伊藤貞嘉、佐々木敏	第一出版	978-4-8041-1408-8	2020
八訂食品成分表 2023		香川明夫	女子栄養大学出版部	978-4-7895-1023-3	2023
参考書					
成績評価					
評価方法					割合(%)
予復習テスト					30
筆記試験					60
提出物					10

予復習テストについては、各テーマの理解度と講義時間外の予復習を評価するものとする。	
学習到達目標	日本人の食事摂取基準についてその理論と活用のしかたを説明できる。 ライフステージにおける特徴と栄養学的な課題、目的について説明できる。 ライフステージに考慮した上で、個人の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理を計画できる。 ライフスタイルや生活の様々な場面について栄養管理を対応させることができる。 アセスメントを実施し、栄養管理を行う際の望ましい栄養士の態度、考え方について自分の考えを表現することができる。
先修条件	
実務経験	
その他	